



各ブースを回り、熱心に説明を聞く高校生ら。中津川市栄町、にぎわいプラザ

中津川市 企業と高校生ら交流

地元就職の魅力PR

中津川、恵那市の高校生や大学生らを対象にした地元企業との交流会「地元を元気にするプロジェクトin中津川・恵那」が、中津川市栄町の市にぎわいプラザで開かれ、高校生を中心に約60人が参加した。岐阜信用金庫は、両市と「地方創生に関する金融機関との包括連携協定」を締結しており、両市との共催で2017年から交流会を毎年開催している。来春の高卒採用活動が本格化するのを前に地元企業の魅力を紹介する場としている。

今回は両市を中心に製造業、建設・土木業、介護福祉サービス業など計40社が

ブースを構えた。会社の特徴や勤務環境、先輩社員を紹介していた。また同金庫の人事担当が面接試験のポイントを教える講座もあり、高校生らがメモを取りながら真剣に聞いていた。進学希望の坂下高校3年の男子生徒は「こういった職場があるのか気になって参加した。丁寧に説明してもらってうれしかった」と話した。事務職で就職を希望する中津商業高校3年の女子生徒は「働くって大変なんだなと思った」と話していた。(青山和史)